

指導例 14

1 主題名 やりぬく心

2 資料名 「農民のために」 一堀之内 良限房一

3 ねらい

- ・自分でやろうと決めたことは、あきらめずに粘り強く最後までやりぬこうとする心を育てる。
(1-(2)希望, 勇気, 不とう不屈)

4 主題について

(1) 価値について

本主題の指導内容項目の「1-(2)希望, 勇気, 不とう不屈」は、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけず努力することである。目標を達成するためには、障害を乗り越えた先にある希望と困難に負けない強い意志や努力, 忍耐力が大切である。




(2) 児童の実態

小学校高学年の子供たちは、日常生活の中で、目標を立て計画的に物事を進めていくことができるようになってきている。しかし、自分で決めた目標を実行することが困難になると、面倒くさくなり、努力もせず、目標が高すぎたと途中であきらめてしまうことが多い。このような子供たちに、希望をもたせ、自分の目標に向かって努力しようとする態度を育てることは意義深いものである。

(3) 資料について

本資料は、農民の生活を少しでも楽にしてあげたいという思いから、急流で難所の多い川内川の川ざらえの工事をした堀之内良限房の話である。主人公「良限房」は、自分も貧しい生活をしていながら、「農民の生活をよくしよう、農民のために」という一心から工事の計画を作成する。そして、藩から許可をもらい、危険な工事を続けながらも完成させる。様々な困難に負けずに、工事を完成させた良限房の生き方を通して目標を達成するためには、困難や障害があってもあきらめずに、希望をもって乗り越えようとする事の大切さをとらえさせることができる。

5 板書例

	<p>★工事の完成 初めて船で渡った</p>		<p>★むずかしい工事 やめるわけにはいかない</p>		<p>★工事の計画 笑われ手伝う人もいない</p>	<p>農民のために 堀之内 良限房 牛・馬死ぬ 害虫 年貢 ↓ つらく苦しい農民</p>	<p>決めたことを最後までやり通すのにはどんな気持ちが必要でしょう ↑ きつい ↑ スイミング ↑ 面倒くさい ↓ ラジオ体操 ↓ 手伝い</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・責任が果たせてよかった ・農民が喜んでくれるぞ ・やめなくてよかった ・最後までやってよかった ・あきらめなくてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後までやろう ・くじけずがんばろう ・農民のためだ ・みんなのためだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・もうやめよう ・あきらめるしかない ○最後までやろう(自分のため) ○がんばろう(農民のため) 					

6 参考文献

・大口市郷土誌 ・のびゆく大口市 ・堀之内良限房（片牧 静江著）

7 展開例

過程	主な学習活動（・子供の意識）	指導上の留意点
導 入	<p>1 やろうと決めたことをやり遂げた経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の百字練習を夏休みに毎日続けた。 スイミングをがんばった。 <p>2 やろうと決めたことをやり遂げることができなかった経験とその理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操を続けると決めただけで、起きるのがきつくなった。 お母さんの手伝いをすると決めただけで、面倒くさくなってやめた。 <p>3 学習のめあてを確かめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">決めたことを最後までやり通すにはどんな気持ちが必要だろう。</p>	<p>○ やり遂げた経験について想起させる。</p> <p>○ やり遂げられなかった経験とその理由から問題意識をもたせる。</p>
展 開	<p>4 資料「農民のために～堀之内良限房～」を読み、主人公の生き方について話し合う。</p> <p>(1) みんなから笑われ、工事を手伝う人がだれ一人いなかった時、良限房はどんな気持ちだったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> だれも手伝う人がいないから、もう止めよう。 家族や親戚の人にも迷惑がかかるから、あきらめるしかない。 これまでの苦労がだめになる。最後までやろう。 苦しんでいる農民のためにやっぱり頑張ろう。 <p>(2) 川ざらえの危険な工事を続けるか悩んだ良限房でしたが、どうして「やめるわけにはいかない」と工事を続けたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> やろうと決めたのだから最後までやり抜こう。 大変な工事ということはわかっていたことだ、くじけずに最後まで頑張ろう。 止めると農民を救うことができなくなるから。 工事をやり遂げるときとみんなのためになる。 <p>(3) 工事が完成し、初めて船で川内川を宮之城まで渡った時、良限房はどのような気持ちだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 渡ることができてほっとした。 これでよかった、農民も喜んでくれるぞ。 途中で止めなくて本当によかった。責任が果たせたぞ。 苦しかったけど、最後までやり遂げてよかった。 <p>5 これまでの自分を振り返って、目標に向かってやり通すために大切にしたい気持ちや考えはどんなことか。</p>	<p>○ 資料を読んだ後、当時の農民の苦しく辛い生活や川ざらえの工事を思い立った経過などを押さえる。</p> <p>○ 弱気になっている気持ちとそれでも頑張るぞという強い気持ちの両方を取り上げたい。</p> <p>○ よりよい生き方を支えた良限房の考えや気持ちを話し合わせる。</p> <p>○ 苦労の末にやり遂げた喜びや感動に共感させる。</p> <p>○ これまでの自分を振り返らせ内省させる。</p>
終 末	<p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○ 実践意欲を高める。</p>